



(3) ちばを簡単に説明すると

千葉県では、約4万年前の旧石器時代から人々の文化はぐくまれてきました。
 縄文時代から人々は自然と上手につき合い、豊かな恵みをもたらす里山*里海*が形成されてきました。千葉県には、貝塚や古墳などおよそ2万9千か所の遺跡が存在しており、その数は全国1位です。古くは麻がよく育ったことから総（ふさ：麻の古語）の国と言い、房総の名の起源となっています。

三方を海で囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい、過ごしやすい海洋性気候です。また、豊かな平野と森や溪谷が、緑あふれる房総半島を形成しています。自然・観光資源・歴史文化などの魅力にあふれ、食材も豊富なことから、訪れた人も住んでいる人も、満足度の高い心あたたまるふるさとになっています。

こうした魅力あふれる千葉県ですが、約300年前の江戸時代に「関東大震災」や「阪神・淡路大震災」に匹敵する「元禄地震*」の大きな被害を受けたことは、あまり知られていません。三方を海に囲まれていることから、大きな津波被害をたびたび受けてきたことも、歴史的な事実として忘れてはなりません。一方、産業面では、農林水産業（おいしい食材の宝庫）、工業（ちばから世界へ届く技術・製品）、商業（テーマパーク入場者数日本一など）とも全国上位のバランスのとれた産業県となっています。



千葉県は、気候・風土・歴史・文化など、多くの恵みがあるんだね。



もっと千葉県のことを知りたいわ。わたしたちがこれからも住み続けるんだからね。



*用語解説) [里山] 農村集落や田畑、山林などを総称し、人と自然が一体となり作り上げてきた地域。
 [里海] 漁業など、生活と強く結びついた海域及びその周辺。
 [元禄地震] 1703(元禄16)年に起きた大地震。千葉県では地震による津波被害で多くの犠牲者を出した。